

北海道クルーズ振興協議会総会を開催

～クルーズ客船の新規寄港誘致と定点クルーズ定着を目指して～

令和7年5月22日（木）、札幌第2合同庁舎講堂において、北海道クルーズ振興協議会第22回総会を開催しました。

冒頭、協議会会長である北海道運輸局 鵜山局次長から「インバウンドを含む観光需要は目覚ましい回復を見せており、さらに、今年は新造客船が北海道の複数の港に初寄港する予定あり、ますますクルーズの需要が高まることを期待している」と挨拶がありました。

本総会は37会員機関の出席のもと、令和6年度事業報告と令和7年度事業計画（案）の提案が行われ、満場一致で承認されました。

その後、大阪府立大学名誉教授で日本クルーズ&フェリー学会事務局長の池田様から「世界のクルーズ客船の最新動向」についてご報告をいただきました。池田事務局長からは、近年のクルーズ市場の動向について、各クルーズ船社がクルーズ船の新船投入を行っており、また、世界的にもクルーズ人口が急激に増えている旨の説明がありました。

第2部は特別講演として、郵船クルーズ株式会社運航部部長吉田様より「二隻体制を迎えるにあたり」と題してご講演をいただきました。講師の吉田様からは、運航しているクルーズ船「飛鳥Ⅱ」に加え、今年7月にデビューする「飛鳥Ⅲ」との二隻体制を迎えるにあたっての戦略の説明がありました。運航する2隻についてそれぞれコンセプトを別にすることや、新船の寄港地造成の苦労などを話されました。

今後、北海道クルーズ振興協議会では、今回承認された事業計画に基づきクルーズ振興を進めて参ります。また、関係機関の皆様と連携し北海道を発着する定点クルーズの定着に向け積極的に取組を『オール北海道』で進めて参ります。



北海道クルーズ振興協議会
鵜山会長



日本クルーズ&フェリー学会
池田事務局長



郵船クルーズ株式会社
吉田運航部 部長